

## 平成20年度 強い水産業づくり交付金 (経営構造改善目標)事後評価結果について

整理番号	20-2	島根県
メニューの内容	水産鮮度保持施設	(施設名) 製氷貯氷施設
事業実施主体	漁業協同組合JFしまね	
実施地区	隠岐地区	
評価期間	平成21年度～23年度	
事業費	613,933 千円	
交付金額	204,643 千円	
成果目標	3年間の総便益	177,671 千円
実績値	3年間の総便益	192,509 千円
成果目標の達成率	108.4 %	
事業の目的	<p>まき網・かにかご・いか釣漁業等の魚価の向上には安定した凍氷供給が必要不可欠である。</p> <p>こうした中、既存製氷施設は稼働後37年以上を経過し、凍氷供給能力はもとより、老朽化によりその稼働は限界に達していた。</p> <p>隣接する法人(株式会社)の製氷工場が廃止されることになり、これと機能統合して、水揚げ港の境港において製氷施設の近代化と貯氷能力の増大、製造コストの縮減をし、凍氷の安定供給とコスト縮減、魚価向上を図り漁業経営の安定に資することを目的とした。</p> <p>製氷施設730㎡ 100t/日、貯氷施設2,270㎡ 3,200t 出氷塔 2基、フォークリフト 3台</p>	
事業の成果	<p>氷積み込み等に要する漁業者の労働時間の短縮、燃油代の節減や氷の製造コストの節減により発生する3年間の総便益額を成果目標とした。</p> <p>労働時間の短縮、燃油代の節減や製造コストの節減が実現でき、3年間総便益額は192,509千円、目標達成率108.4%と目標を上回った。</p> <p>労働時間の短縮による営漁経費節減は図られたが、魚価安の長期化や原油価格の高止まりなどの社会的要因により、節減効果が実感されるには今しばらく時間がかかるものと考えられる。</p> <p>凍氷製造コストは計画の約4,000円/トンを下回り、製造コストの節減効果は計画を上回った。また、供給量も計画の約2万5千トンを超え、凍氷の安定供給が図られた。</p>	
その他特筆すべき事項	<p>製造コスト節減による便益について実施主体では、各分野で生じたそうした利益をもとに、例えば独自に燃油対策として助成金を交付するなど、漁業者への利益還元に尽力している。</p>	
成果目標が未達成(達成率が70%未満)の場合はその理由及び改善方策		
備考		